

交換機設備仕様

I. 一般事項

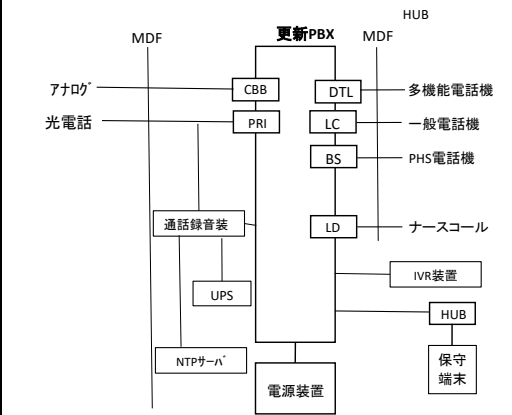
1. 本仕様書は、電話交換機、電源装置、電話機等の設備機器の仕様、機能について規定するものである。特記なき事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「電気設備工事共通仕様書（平成19年度版）」による。
2. 日本電信電話株式会社の定める構内交換機の試験基準及び本体機能に準拠するものとする。
3. 本工事は、全て総務省の定める試験基準に基づき施工し、設置する機器材料は検定規格品で日本工業規格に適合したものを使用する。
4. 交換機、電源装置、本配線盤等の耐震固定は「建築設備耐震設計・施工指針」によるものとし、設計用基準震度は、別途電気設備仕様書に示した値を採用する。

II. 端末機器内訳

	品名	数量	備考
1	ひかり電話オフィスA	23ch	PRIゲートウェイ受け
2	アナログ回線	5回線	非常用
3	多機能電話機	9台	5台分は停電用電話機対応品 ※新規導入交換
4	アナログ電話機	261台	2台 中継台から変更用多機能電話機 ※新規導入交換
5	PHSアンテナ	59台	(FAX回線含む)既設流用
6	PHS電話機	309台	全て既設流用

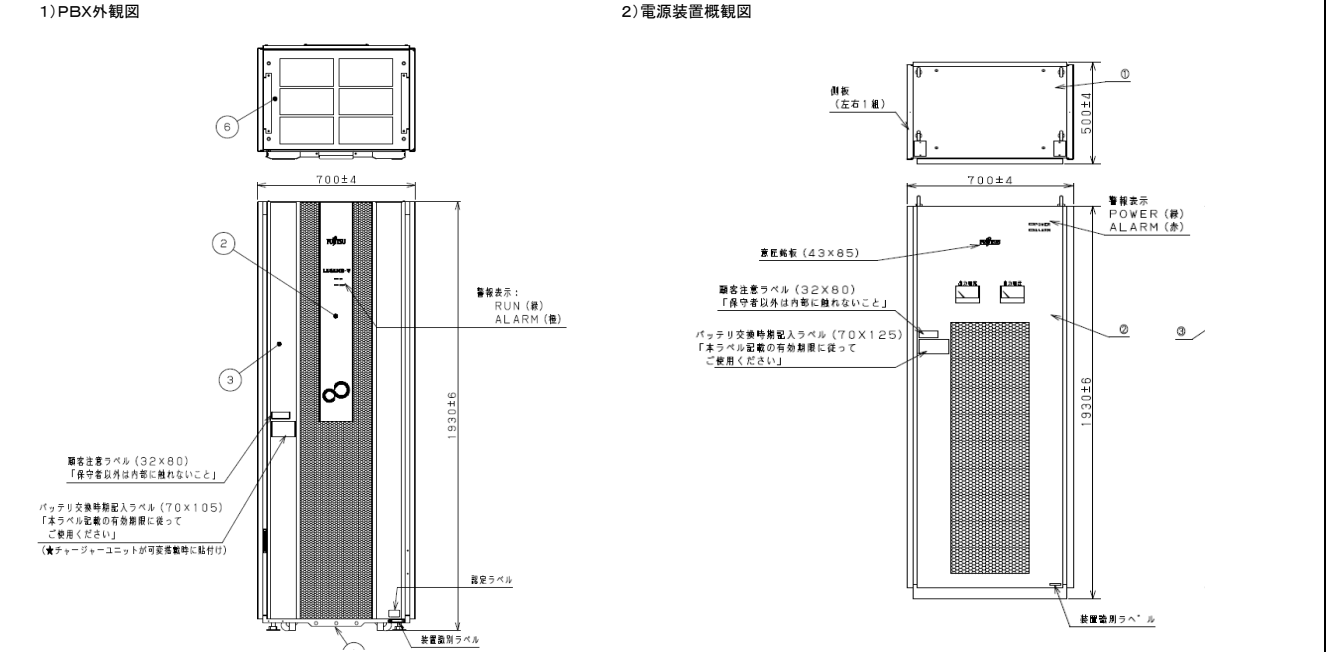
1. デジタル交換機
- 1) 交換方式  
(1) 通話路方式  
(2) 制御方式  
(3) プロセッサ・冗長構成  
(4) 局線着信応答方式  
  
(5) 主記憶装置
- 2) 冗長構成
- 3) トラフィック容量  
(1) 標準発着信容量
- 4) 電気的特性  
(1) 電源電圧  
(2) 内線線路条件  
①アナログループ抵抗  
一般内線(電話機内部抵抗含む)  
②デジタル内線電話距離  
ケーブル芯線(0.5Φ)  
(3) トランク線路条件  
①局線(トランク内部抵抗含む)
- 5) 環境条件  
(1) 運用時間  
(2) 周囲温度  
(3) 相対湿度  
(4) 空調設備
- 6) 収容回線数
- 7) 内線に対する機能  
(1) 内線相互接続  
(4) ラインクラス(内線クラス)  
(7) 固定短縮ダイヤル  
(10) 夜間自動切替  
(13) 発信接続規制  
(16) ダイヤルイン
- 8) 内線サービスクラス(参考)
- 9) その他  
(1) PHSアンテナ  
(2) PHS電話機  
(3) FAX  
(4) 保守コンソール

2. 電源装置  
1) 電源装置形態  
2) 入力電圧  
3) 停電補償時間  
4) 出力電圧  
5) 蓄電池タイプ
3. 本配線盤  
交換機局線及び内線の容量分を収容できるものとする。
4. PHS接続装置  
①配線方式  
②通話チャンネル  
③無線インターフェース
5. PHS電話機  
①連続通話時間  
②連続待受時間  
③使用電池  
④液晶表示  
⑤ナースコール連携
6. IVR装置  
①音声で自動応答、お客様の選択番号により希望の部門へ転送  
②寸法(幅×奥行×高さ): 430×286×177 mm(ゴム足除く)
7. 通話録音装置  
①録音時間: 最大約70,000時間(標準モノラル時)  
②アナログ/BR/PR 混在収容可能  
③録音ch数: 最大96ch  
④寸法(幅×奥行×高さ): 429×500×177 mm(ゴム足含まず) 高さ4U  
⑤LAN再生ソフト  
⑥UPS装置設置
8. システム構成図(中継方式)



9. 特記事項
- ①PHSのエリアは、全病棟とし、良好な通話が確保できること。

7. 機器外観図



新規	多機能電話	新規	多機能電話(停電用)	新規	多機能電話(中継台変更電話機)
既設流用	一般電話機	既設流用	PHSアンテナ	既設流用	PHS子機
新規	IVR装置	新規	通話録音装置		